

事業評価調書

◎基本情報

年度		令和4年	会計コード		10	一般		事業コード		21599
事業名		パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費								
評価担当課		所属名		市)文化部 文化振興課						
		課長名		高橋	担当者名		工藤、嶺	電話番号	011-211-2261	
施策名	主	札幌市ならではの文化が生まれ、世界に発信され、多くの人が集ま								
	副									
アクションプラン		● 対象		○ 対象外		戦略ビジョン		● 対象		○ 対象外
事業の性質		○ 経常経費		● 臨時的経費						
		○ 内部管理		○ 法定経費		○ 指定管理				
事業内容	実施形態	○ 直営		○ 一部委託		○ 全部委託		○ 補助助成		● その他
	目的	短期 世界の若手音楽家の育成(令和4年度までのPMF修了生延べ人数:3, 717人)世界的に優れた音楽に触れる機会を札幌市民に提供し、札幌市の文化芸術を振興する。								
		長期 音楽教育、人材育成という立場から社会に貢献し、クラシック音楽の普及と発展に寄与するとともに、PMFを通じて札幌市の魅力を国内外に発信する。								
	取組内容	①PMF事業:世界の若手音楽家に対する教育事業、演奏会事業(各種コンサート)、音楽普及事業(リンクアップコンサート、教育セミナー等) ②市長歓迎レセプションの開催 ③事務費								
	実施結果	コロナ禍を経て3年ぶりにアーティストやアカデミー生が国外からも参加し(アカデミー生は20の国と地域から52人)、7月13日から15日までのプレ期間及び7月16日から8月2日までの18日間の会期中、札幌市内や道内各地において計30公演(プレコンサートやオープンリハーサル等を含む)を行い、来場者数は20, 754名となった。そのほか普及事業として、小学生が手作りの打楽器や歌でPMFオーケストラと共演するリンクアップ・コンサート(7校)、修了生による学校DEカルチャー(2校)やミニコンサート(15回)を実施した。								
事業実施における工夫点		89社から協賛を頂き、国からも75, 000千円の補助金の採択を受ける等、事業実施に向けて収入の確保に努めた。								
対象者		市民、世界の若手音楽家、観光客					開始	平成4 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等		札幌市文化芸術基本条例								
他都市の状況		音楽の質、規模、国際性などにおいて、本市と同様の教育音楽祭は、他都市にはない。(世界三大教育音楽祭:タングルウッド音楽祭(アメリカ)シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭(ドイツ)、PMF)								

◎事業費

(単位:千円)

		令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費		147,958	302,000	301,679	347,000
うち特定財源		69,838	82,252	140,000	173,000
人工		0.0	0.3	0.3	0.3
人件費		0	1,800	1,800	0
計(事業費+人件費)		147,958	303,800	303,479	347,000
事業費の内訳	令和4年度決算	・PMF組織委員会への負担金:300, 504千円 ・レセプション及び事務費:1, 175千円			
	令和5年度予算	・PMF組織委員会への負担金:345, 621千円 ・レセプション及び事務費:1, 379千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	PMF修了生の延べ人数									
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定							
	3,665人	3,855人	3,717人								
活動指標2	指標名	演奏会入場者数									
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定							
	5,314人		20,754人								
成果指標1	指標名	PMFの認知度									
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標							
	51.60%		51.80%								
成果指標2	指標名										
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標							
項目	判定	理由									
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	これまで延べ3,700人余りの若手音楽家を輩出し、世界の主要なオーケストラをはじめとした各国の楽団でPMF修了生が活躍している。また、音楽を通じて札幌の魅力を発信し続けており、集客交流にも寄与している。さらに、札幌芸術の森、札幌コンサートホールでの演奏会のほか、市内各所での無料コンサート、市内小学生を対象とした参加型のリンクアップコンサートなど、多くの市民が世界的に優れた音楽に触れることのできる機会を数多く提供しており、本市の文化芸術振興に寄与している									
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	コロナ禍の影響による会期短縮やアカデミー生の人数削減などは行っているが、外部のアーティストを招く等して例年通りの規模のオーケストラを編成し、世界三大教育音楽祭の一つとしてその質を確保しつつ状況に応じた適正な事業規模を維持している。									
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	本事業は世界の音楽文化の発展に貢献しているほか、市民に対してクラシック音楽の魅力を伝え、世界的に優れた音楽を気軽に楽しむことができる機会を提供するとともに、演奏者のレベルアップを図るなど、本市の音楽文化の普及と発展に寄与するものである。そのため、本市の主体的な関わりが求められること、実施準備や普及事業に係る業務が通年で存在し、ノウハウを持った専門組織の継続的な関わりが必要なことから、今後も本市と公益財団法人PMF組織委員会との共催事業として実施することが適切である。									
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	来場者アンケートによると、「PMFに親近感を感じる」「PMFが札幌で開催されていることを誇りに思う」「これからも長く続いてほしい」といった項目への肯定的な回答が9割を超える等、本市の文化芸術の振興への寄与がしっかりと認知されている。									
市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外 市民参加結果への対応 ☐ 回答 ☒ 反映										
今後の改善点	近年、企業のメセナ活動の低下等の影響により、協賛金収入が低下傾向にある。今後、協賛金確保により一層努めるほか、ふるさと納税や寄付金の増加に努めて持続可能な運営に向けた財政基盤の確立を目指し、PMFの継続発展に向けて、最高水準の音楽教育の提供と魅力的な音楽祭の開催を続けていく必要がある。										
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし										
今年度取り組んだ見直し内容	組織委員会において、企業版ふるさと納税の確保を目指した営業を行った。		見直し効果額 (前年度)	0	千円						
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし										
評価の理由	これまでに引き続き国際教育音楽祭としてPMFアカデミー生を教育するとともに、多くの市民へ世界的に優れた音楽に触れる機会を提供することができたと認められるため。										
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 休止・廃止									
		引き続き海外からアカデミー生やアーティストを招聘したPMFを開催し、多くの市民や観光客に世界的に優れた音楽に触れる機会を提供するとともに、PMF認知度の向上に向けた取組も進める。									
	予算	☒ 拡充 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他 為替の変動や燃油高により経費が増大しているため、協賛の確保等、組織委員会の財源確保の努力を前提として、予算を拡充させる。		見直し効果額	0 千円						